

1. 調査研究校名

ふりがな	おかやまけんにいみしりつちやしょうがっこう
学校名	岡山県新見市立千屋小学校

2. 調査研究のテーマ

研究テーマ	【開始学年】 第1学年 第2学年 第3学年 第4学年 第5学年 第6学年
	外国語活動型 教科型 1コマ 2コマ

3. 取組の具体的な内容

a 使用した教材 ○英語ノートは、全学年で使用した。使用率25パーセント。主にリスニングとゲームで使用した。1・2年は2単元、3・4年も2単元、5・6年生は3単元で6時間使用した。英語ノート準拠デジタル教材を電子黒板で活用した。教員が工夫を加えての活用もした。 ○市販のテキストは、啓林館「小学生の英語 Book1、Book2、Book3」を主に活用した。年間指導計画もこの副読本に準拠して作成した。 ○音楽・音声教材として、文溪堂「50 ENGLISH SONGS」「35 ENGLISH SONGS」、成美堂「らくらくイングリッシュ①②」、Genki English.com「Genki English!!vol. 1・2」を主に活用した。 ○読み聞かせ用絵本・紙芝居として、PEARSON他「エリックカールビッグ絵本」、Knops「レオ・レオニ絵本シリーズ」、アプリコット「Big Book①～⑩」、飛鳥書店「国際理解行事紙しばい」、ディーネット「英語・日本語紙しばい」等を活用した。 ○フラッシュカードは、新見市教育委員会が作成したものを活用した。
b 授業の中心となる学級担任等及び校内の他の教員の指導力向上のための取組 ○校内研修の推進 授業研修、指導主事等訪問公開授業研究会、指導方法研修、教材作成研修、教材活用研修、ICT活用研修、単元・授業構成研修、評価規準・評価方法研修、英語運用能力研修（クラスルームイングリッシュ、歌、ゲーム、チャンツ、英語表現） ○先進校視察・協議会参加（市内研究開発学校授業研修会、市教委研究指定校授業研修会、県外研究発表会） ○研修講座受講（岡山県総合教育センター小学校外国語活動研修講座）
c 児童の興味・関心等の学習状況の変容について定量的に把握するための取組 ○アンケート調査を年2回実施（7月、12月） ○児童による授業終末での自己評価（振り返りカード） ○児童による授業終末での相互評価（本時目標、発表、発話を中心に） ○リスニング評価（1単元で2回程度） ○スピーキング評価（ALTと担任で聞き取り） ○授業中の行動観察・発表観察
d 学級担任等を補助するためのALTや地域人材等の外部人材の効果的な活用 ○ALTとの打ち合わせ・・・毎時間ALTとのチーム・ティーチングによる授業を行っているので、前時の授業後と本時の授業前の2回行った。授業の進行状況によっては授業中にも行った。 ○ALTとの役割分担・・・ALTは生きた英語の提供者とし、発音や言語の使い方を指導した。絵本の読み聞かせや英語の歌・歌の振り付けの指導、ゲームやチャンツの説明もした。 ○ALTによる評価・・・授業終末での振り返りでALTがコメントをし、児童を称揚した。 ○ALTの指導力向上・・・事前打ち合わせで教材の準備や指導方法の工夫をした。
e その他（校内における外国語教育推進体制の構築、地域との連携等） ○複式・小規模校であるため、推進委員会等を組織せず、研究主任を中心に共通理解を図りながら推進した。 ○教員の資質向上を中心とした校内研修を定例化し、計画的に研修を進めた。 ○中学校区研究開発学校研究推進委員会と連携して研究を進め、授業研修会には相互に参加した。

4. 学習指導案

別途添付

5. 取組の成果等

①児童の定性的、定量的な変容

- アンケート調査（7月、12月）の結果より、児童の外国語活動に対する興味・関心が高まっている。低・中学年では、アンケート調査結果の比較と授業後の振り返りカードにより「授業が楽しい、もっと英語を話したい」という児童が増えた。「外国語活動が好き」は、89%→95%に増加した。特に、1年生の「あまり好きでない」と答えた児童が「まあまあ好き」に変わったことや中学年の「外国語活動が好き」と答えた児童が、12月には100%になったことが大きな成果である。高学年については、「外国語について新しいことを知ることが楽しい」「英語を使ってALTや友達とふれあうことが楽しい」「もっと英語を話してみたい」と思う児童が増えた。
- 学習した英語を学校生活の中で使ったり、家庭でも使ったりする姿が多く見られた。
- 授業の振り返りカードから、低学年でも英語の文字を書きたいという思いをもった児童がいることがわかった。
- ALTの行動観察評価により、児童が英語の音声やリズムを好み、意識して発音した結果、正しい発音になってきた。

②教員の変容

- 校内研修の定例化による英語研修や教材の整備、先進校視察等により、教師の指導力が大きく向上した。
- クラスルームイングリッシュの使用が、0%→40%程度までに増加した。挨拶・活動の指示・褒め言葉等は、できるだけ英語を使うように心がけた。
- 教員が積極的にクラスルームイングリッシュを使ったので、児童の学習意欲を高めるよいモデルとなった。
- ICT活用（コンピュータ・電子黒板・実物投影機等）の研修により、よく活用する教員は25%→100%になり、英語ノート準拠デジタル教材も効果的に活用できるようになった。教室に電子黒板を常備できたことにより、教員の活用力が向上した。
- 外国語に関する掲示をしたり、清掃時の音楽に英語の曲を採用するなど日常的な指導への意欲が高まった。

③組織の変容

- 複式・小規模校で教員数が少ないので、研究推進委員会等を組織せず、全員で話し合い、共通理解を図ったため、研究に対する全教員の意識が高まり、校内研修に意欲的に取り組み、先進校の授業公開や研修会に進んで参加した。

④その他

- 複式学級の特性として、低学年の4月～7月においては、1年生と2年生の外国語の知識や学習に対する意欲に差が大きいと、単語中心の丁寧な指導が必要であった。実態に応じて、指導目標や評価規準を学年別に定めたり、扱う英語表現も少なめにしたりした。1年生には一人での発話を避け、2年生を含むグループか学級全員でのチャツを中心にして指導した。グループ編成や座席も1年生同士が偏らないように配慮した。全身を使った動作のある歌やゲームを中心に授業の流れを組み立て、しっかりと褒め、楽しい授業を心がけた。また、次週まで児童の関心・意欲が続くように指導した。英語の歌を朝の会で歌ったり、健康観察を英語で行ったりした。天候の悪い日は、休憩時間や放課後に電子黒板を活用して、英語のビンゴゲームやクイズなどをし、日常的に英語に親しめるようにした。
- 中・高学年では、学年差よりも個人差のほうが大きいと、学年差による配慮は必要ないが、個に応じたきめ細かい指導や支援が必要であった。

6. 次年度以降の継続・展開

○英語ノート活用

英語ノートと準拠デジタル教材、電子黒板活用等を年間計画の中に明記し、積極的に活用していきたい。ALTとの学習活動をより豊かにしたり、英語の音声に慣れる場面を豊富にしたりするためにも、デジタル教材や電子黒板の活用法を一層工夫したい。デジタル教材は、ALT以外の外国人の発音を聞いてリスニングやゲームができ、児童の意欲を高める効果もあるので、活用場面をさらに工夫したい。

○絵本・劇

本校児童は、絵本の読み聞かせを大変楽しみにしている。学習内容にあった適切なものを選び、年間指導計画に加えていきたい。学校行事等で昔話などの英語劇にも取り組んでみたい。

○複式学級でのカリキュラムについて

複式学級2年次は、1年次のカリキュラムに工夫を加えるとともに、児童の興味・関心の変化に応じた修正が必要である。また、6年生の指導では、知的好奇心を刺激する内容を工夫し、相手に伝えたい、英語を使いたいという気持ちを抱かせる指導が大切である。

○他教科・総合的な学習や行事と関連づけたタスク型の単元の設定

児童が他教科・総合的な学習で学んだ知識や体験を題材とした教材を工夫すれば、高学年の児童の関心・意欲が低下することなく指導できると思う。

○校内での外国語活動推進体制の確立

外国語活動推進に対する教員の役割分担をさらに明確にすれば、全体研修だけでなく、個人研修も活性化され、指導力が向上すると思う。

○小中連携の視点

定期的に中学校英語科教員が小学校での授業に参加したり、小学校教員が中学校での授業に参加したりする等のさらなる交流が図れば、小中連携が充実できると思う。

7. 年間事業経過

月	取組の内容		
	校内における取組	主催研究会・発表会等	先進校視察・協議会等
4月	校内研修計画の立案 研究テーマの検討 学習の流れ、指導法の研修		
5月	研究授業の検討 クラスルームイングリッシュ研修 低・中・高学年別目標の検討		
6月	校内授業参観 英語ノート準拠デジタル教材の活用研修		運営指導委員会 研究推進委員会
7月	指導案形式、評価方法の研修 外国語活動アンケート内容の検討、調査 態度目標の検討		高尾小公開授業参加 唐松小公開授業参加
8月	ICT活用研修（電子黒板） 1・2年学習指導案検討 3・4年学習指導案検討		研究推進委員会 県総合教育センター外 国語活動研修講座参加
9月	1・2年学習指導案検討、3・4年学習指導案検討 英語教育環境整備		高尾小公開授業参加 唐松小公開授業参加
10月	授業研修会（1・2年、3・4年）	公開授業研修会	西方小公開授業参加
11月	外国語活動実践報告内容と分担について 先進校視察・研究会参加報告会		京都教育大学附属小学校英語研究協議会 南足柄市小中一貫教育研究発表会 大牟田市立大牟田小学校 紀ノ川市立粉河小学校
12月	5・6年学習指導案検討 校内外国語活動アンケート調査実施		横浜市立朝比奈小学校 武雄市立朝日小学校 新見第一中公開授業参加
1月	5・6年学習指導案検討 研究のまとめについて アンケート調査の集計、分析		運営指導委員会 全国小学校英語活動実践研究大会
2月	5・6年授業公開、研究協議 研究会参加報告会 実施報告書作成	公開授業研修会	筑波大学附属小研究会 高尾小公開授業参加 西方小公開授業参加
3月	年間指導計画見直し		

1 単元名 くだものが大すき Do you like ~?

2 単元目標

- いろいろな果物を表す言葉を使って、友達と楽しくコミュニケーションする。
- いろいろな果物を表す英語表現に親しむ。
- 果物を表す言葉には、言い方が日本語と英語でまったく違うものや似ているものがあることを理解し、言い方の違いに気付く。

3 評価規準

- 果物を表す英語表現に興味を持ち、友だちと楽しく活動しようとしている。
(関心・意欲・態度)(1・2年共通)
- いろいろな果物の英語表現に親しみ、果物の好みをたずねたり答えたりしている。(表現)(1年)
- いろいろな果物の英語表現に慣れ、進んで果物の好みをたずねたり答えたりしている。(表現)(2年)
- 果物を表す言葉を理解し相手が言ったカードを選んだり、日本語と英語で音やリズムの違いがあることに気付いている。(気付き・理解)(共通)

4 扱う表現

What's this? It's ~. Do you like ~? Yes, I do. No, I don't. I like ~.
fruit, apple, banana, cherry, grape, kiwi, lemon, melon, peach, strawberry . . .

5 指導計画(全3時間)

- 第1時 果物の言い方に慣れる。
- 第2時 ある果物について好きか嫌いかたずねる言い方に親しむ。
- 第3時 友達の好きな果物を知り、楽しくゲームをする。(本時)

6 指導上の立場

○単元について

本単元は、果物の英語表現に親しみ、「What's this?」「Do you like ~?」の英語表現を使い、友達に果物の名前や好みをたずねる。児童は、これまでに「挨拶」「数」「色」「果物・野菜・動物」「体の部分」などの単語を中心に外国の文化に触れ、英語表現に親しみ慣れる活動をしてきた。果物は、児童が日頃よく目にする食べ物で、果物を表す言葉のなかにはバナナやパイナップルなどのようにそのまま外来語として使われている物もあり、親しみやすい題材である。その点で、1・2年の外国語活動に適している。

1年児童は、本単元の第2時で初めて友達の好みの果物をたずねるが、友達の好きな物を知ったり自分の好きな物を知ってもらうことは、児童にとってうれしいことであり、興味を持って楽しく活動できると思われる。単元の終わりには、友達の好みのパフェ作りゲームを計画し、複式上学年もめあてを持って活動できるようにしたい。

○児童の実態

本校では、低学年の英語活動は1年生3名と2年生7名が合同で行っている。外国語活動

以外にも体育などの学習活動でも複式の授業形態をとっており、児童はお互いに親しみをもっており仲はよい。外国語活動においても ALT に親しみをもちながら、楽しく活動している。

しかし、初めて外国語活動を行う 1 年生と 2 年生とでは理解度やコミュニケーション力に差があるのは、当然のことと言える。また、集中力の面でも 1 年生と 2 年生では差が生じる。そのようなことを踏まえ、学年差を考慮している。1 つは同じ目標でも時には評価規準を 1 年生用・2 年生用と分けて設定していることである。もう 1 つは 2 年生が 1 年生をリードしながら全員が楽しく満足感を味わえるような二人組やグループを作っていることである。

さらに、HRT は 1 年生を中心に相手や周囲にはっきりと分かるようなジェスチャーや声の大きさを指導している。また HRT も ALT も学年に関わらず、意欲的な態度やできたことをしっかりと認め、楽しい雰囲気の中で学習できることを心がけて指導している。

○研究主題との関わり

本校では、「子どもたちの思いをひろげる確かなコミュニケーション能力の育成」という研究主題のもとに外国語活動を進めている。確かなコミュニケーション能力とは、より実践的で身近なコミュニケーションの力ととらえ、ゲームや今日の課題の出し方等を工夫している。

本単元では、身近な果物の英語表現を使い、友達の好みをたずねる。笑顔で友達の好きな果物をたずねる活動の根底には、友達への思いやりや関わろうとする気持ちがある。この関わろうとする気持ちや関心が高いほど、コミュニケーション活動は、活発になり、次の活動へと広がる。本時も、温かいコミュニケーションの場となるように、ゲームは勝負を争うものではなく、友達と会話を楽しむことができるものを選んでいく。低学年児童は、聞こえてくる英語の音楽に合わせて、リズムをとったり、英語をまねて発音したりする活動を好む。本校の 1・2 年児童も耳からの情報を素直に言葉や動作で表現し、英語の歌やダンスをすることが大好きである。本単元でも活動意欲を高めるために、チャンツや英語の歌を効果的に使っていきたい。1 年生にとっては初めての活動も多いので、不安なくできるように、ていねいにゲームの説明をしたり ALT とのチャンツをロックのリズムにのせて練習したりし、自信をもって活動できるよう支援する。確かなコミュニケーション能力への近道はなく、伝わったという実感や自信の積み重ねや毎時間のコミュニケーションの楽しさを十分に味わうことが大切であると思われる。

また、本校では外国語活動を進めるにあたり、5 つの活動のめあて（① Eye contact ② Listen carefully ③ Speak clearly ④ Big gestures ⑤ Nice smile）を決めているが、学習の中でどんなことに気をつけて活動していくかをはっきりと児童が意識でき、実践的な力を高めていくのに役立つものと考えられる。

本時は、研究主題達成のために次のような点に工夫し、進める。

- ① 児童の好きな歌「フルーツマーケット」やチャンツのリズムで果物の英語表現にふれる機会を多くとり、意欲関心を高めるとともに、本時で使う英語表現に自信を持たせる。
- ② 児童がたずねたい・話したい活動やゲームを工夫する。ICT の活用やフルーツの模型を使った活動的なゲームで楽しみながら英語表現できる場を提供する。
- ③ たくさんの友達と会話できる温かく楽しいコミュニケーションの場になるように、ゲームやチャンツの方法を工夫する。

(第2時)

目標	ある果物について好きか嫌いかをたずねたり、自分の好きな果物を答えたりして友達と仲よく活動する。		
活動過程 (時間)	児童の活動	HRTとALTの支援と工夫 HRT ☆ ALT ★	準備物 ◆評価
1 あいさつ (5)	○あいさつをする。気分や体調、天気などについてALTと会話する。	★ 一人ひとりのあいさつに反応しながら和やかな雰囲気をつくる。 ☆ 頑張って言えた児童をしっかり誉めるなどして、意欲を高める。	カード
2 ウォームアップ (5)	○「Fruit Market」を歌う。	☆☆ 2列に分かれ向き合って身ぶりを付けて、楽しく歌い雰囲気をつくると共に果物の名前を思い出させる。	CD
3 今日の課題 (10)	○ HRT 2人の会話を聞く。	☆ “Do you like ~?” ☆ “Yes, (I do.) I like ~.” /No, (I don't.) I like ~.” “Yes./No.” (1年) ☆ T 2が果物のジュースを飲んでい る。T 1はそれに気付く。T 2が “Do you like ~?” と尋ね、T 1が Yes, (I do.) I like ~. と答える。	果物 ハンカチ
くだものが好きかきらいかをきいたりこたえたりしながら、英語でたのしくあそぼう。			
4 主な活動 (20)	○果物の単語の復習をする。 ○ Do you like ~? や Yes, I do. I like ~などの英語表現に慣れる。 ○ゲームをする。 (Do you like Game T1) ・ 2列に分かれ、配られた果物のカードを持ってALTとT2の前に立ち、Do you like ~? の質問に答える。 (Yes No Game T2) ・ カードを3枚持ち、一番上のカードを使用する。音楽に合わせて歩き。止まったらお互いに “Do you like □?” と聞き合う。二人とも同じだったら握手して分かれる。 ○英語の絵本を見る。	★ 絵カードやチャンツを用いながら速さに注意して練習する。 ☆ うまく言えない児童には、そばについて一緒に言う。 ★ ☆ ALTと児童・児童と児童など相手を変えながら、好きか嫌いか尋ねる英語表現に慣れさせる。 ☆ ゲームのやり方が分かるように丁寧に説明をし、デモンストレーションする。 ☆ 初めての英語表現なので、T1はうまく言えない児童のそばで支援する。 ☆ 1年生が答えやすいように、1年生は2年生と出会うよう声をかける。 ☆ ★ 1年生の児童を中心に、言い方を忘れたりうまく言えなかったりする児童にはそばで一緒に言う。 ☆ ★ 次のような姿が見られるようにたずねたり称賛したりする。 ・ はっきりと相手に分かるようにたずねたり答えたりしている。 ・ 友達に関心をもち、笑顔で教えたり答えたりしている。 ☆ 最後の1回は2人が同じだったらALTとハイタッチをし、会話することで意欲を高める。 ★ 「The Very Hungry Caterpillar」を表情豊かに読み聞かせながら、英語に親しませる。	カード小 カード小 ◆関心 絵本
5 ふりかえり (5)	○今日のめあてに対する自己評価を発表する。	★ 英語表現や態度についてよかった点を称賛する。 ☆ 本時のめあてや態度などについてよかった点を称賛することで、満足感や達成感を味わわせる。	
6 あいさつ	○「See You Song」を歌う。	☆☆ 明るい雰囲気と満足感をもって授業を終えることができるよう、歌を歌ったりALTとハイタッチをしたりする。	CD
評価	○好きか嫌いかをたずねたり、答えたりしようとする。[関心(2年)] ○好きか嫌いかをたずねたり、答えたりする言い方を知り、たずねたり答えたりしようとする。[関心(1年)]		

(第3時)

目標	ある果物について好きか嫌いかをたずねたり、自分の好きな果物を答えたりして友達と仲よく活動する。		
活動過程 (時間)	児童の活動	HRTとALTの支援と工夫 HRT ☆ ALT ★	準備物 ◆評価
1 あいさつ (5)	○あいさつをする。 ・気分や体調、天気などについてALTと会話する。	★ 一人ひとりのあいさつに反応しながら和やかな雰囲気をつくる。 ☆ 頑張って言えた児童をしっかり誉めるなどして、意欲を高める。	カード
2 ウォームアップ (5)	○「Fruit Market」を歌う。	☆☆一緒に体を動かしたり楽しく歌ったりして雰囲気をつくる。	CD
3 今日の課題 (10)	○ HRT 二人の会話を聞く。	☆ “Do you like ~?” ☆ “Yes, (I do.) I like ~. /No, (I don't.) I like ~.” “Yes. /No.” (1年) ☆ 手品で好きな果物を出して見せることで、児童の興味・関心を高める。	果物 ハンカチ
くだものがすきかきらいかをきいたりこたえたりしながら、英語でたのしくあそぼう。			
4 主な活動 (20)	○果物の単語の復習をする。 ○ “Do you like ~” “Yes, I do. I like ~.” などを用いて英語表現に慣れる。 ○ゲームをする。 〈Fruits Parfaitをつくらう T2〉 ・二人組になりお互いに好きな果物を聞きながらパフェを作る。 ・パフェを友達に紹介する。 〈Lucky Fruits Game T1〉 ・音楽が止まったらじゃんけんをして	★ 絵カードやチャンツを用いながら速さに注意して練習をする。 ☆ うまく言えない児童には、そばについて一緒に言う。 ★ ☆ ALT と児童・児童と児童などと相を変えながら、英語表現に慣れさせる。2年生がリーダーとなり活動する場面もある。 ☆ ゲームのやり方が分かるように丁寧に説明をし、デモンストレーションする。 ☆ 電子黒板を使用することにより、児童の意欲・関心を高める。 ☆ お互いのパフェを紹介し合うことで友達に関心をもたせる。 ☆ 1年生が答えやすいように、1年生と2年生とでは答え方の例には違いを設ける。	電子黒板 カード ◆関心 ◆表現 果物

	<p>負けたら相手に "Do you like ~?" とたずねながら果物を1つ渡す。</p> <p>・時間内に集めた果物のうち、ALT の示す果物があるか確かめる。</p>	<p>☆☆ 1年生の児童を中心に、言い方を忘れたりうまく言えなかったりする児童には、そばで一緒に言う。</p> <p>☆☆ 次のような姿が見られるよう、支援したり称賛したりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はっきりと相手に分かるようにたずねたり答えたりしている。 ・友達に関心をもち、笑顔で教えたり応援したりしている。 	
5	<p>ふりかえり (5)</p> <p>○今日のめあてに対する自己評価を発表する。</p>	<p>★ 英語表現や態度についてよかった点を称賛する。</p> <p>☆ 本時のめあてや態度などについてよかった点を称賛することで、満足感や達成感を味わわせる。</p>	
6	<p>あいさつ</p> <p>○「See You Song」を歌う。</p>	<p>☆和やかな雰囲気です授業が終わるよう、CD</p>	<p>歌を歌いながら授業を終える。</p>
評 価	<p>○果物について好きか嫌いかをたずねたり答えたりして、楽しくコミュニケーションしようとする。〔関心〕</p> <p>○果物について好きか嫌いかを "Yes/No" を使って答えている。〔表現(1年)〕</p> <p>○果物について好きか嫌いかを英語でたずねたり答えたりしている。〔表現(2年)〕</p>		

1 単元名 わたしを見つけて Can you find me?

2 単元目標

- 自分が身につけているものを表す言い方に興味をもち、身につけているものをたずねたり答えたりしながら、友達と楽しくコミュニケーションする。
- “What are you wearing?” “I’m wearing ~.” “I have ~.” を用いて、自分が身につけているものを言い表したり、友達にたずねたり答えたりする。
- 自分が身につけているものの名前には、日常で親しんでいるものが多いが、言い方が違うことに気づく。また、ハローウィンの行事に興味をもち、異文化に触れる。

3 評価規準

- 自分が身につけているものを表す言い方に興味をもち、進んで発話したり、進んで友達に伝えようとしていたりしている。(関心・意欲・態度)
- 自分が身につけているものを表す言い方に慣れ、友達にたずねたり答えたりしている。
(表現)
- 自分が身につけているものの言い表し方に慣れ、日常使っている言い方とは違うことに気づく。(気付き、理解)

4 扱う表現

What are you wearing? I’m wearing ~. I have ~. Trick or treat.
uniform, hat, skirt, T-shirt, boots, pants, (blue) jeans, dress, cap, blouse, tie, coat, sneakers, jacket, shoes, glasses, belt, earrings, necklace, umbrella, cane, bag, suitcase, backpack, witch, spider, ghost, monster, etc.

5 指導計画(全4時間)

- 第1時 身につけているものを表す言い方に興味をもつ。(本時)
- 第2時 自分が身につけているものを表す言い方に慣れる。
- 第3時 身につけているものや持っているものを表す言い方が分かり、それを用いて友達と進んでコミュニケーションする。
- 第4時 ハローウィンの行事にふれ、身につけているものや持っているものを表す言い方に慣れる。

6 指導上の立場

○単元について

身につけているものを表す言い方を知り、慣れる単元である。今年度から扱う初出の学習である。「What are you wearing?」という問いかけは、日常の会話では行われぬ可能性が大きい。そこで、「着せ替えゲーム」や「人探しゲーム」を設定することで、着せ替えのためにたずねたり答えたりする活動を展開したり、身につけているものをたよりに、人を探すという目的でこのフレーズを使っていくようにする。「I’m wearing ~」または「I have ~」で身につけているものを答えながら、身につけるものを表す言い方に慣れていくが、フレーズにならなくても、単語やジェスチャーで身につけているものを言い表せる状態でもよいものとする。

また、ハローウィンの行事にふれ、独特の衣装や持ち物などを扱うことで、身につけるものの言い表し方に広がりを持たせ、より興味をもたせるようにしている。

○児童の実態

本学級は、3年生4名、4年生8名の複式学級である。児童は、明るく素直で、学習にも真面目に取り組める。外国語活動を、どの児童も楽しみにしており、ALTとのふれあいを通して、外国の方にも親しみをもって接することができる。総体的に、男子はゲームなどでも競争に集中し、非常に活動的である。しかし、活動に熱中しすぎたり喜びすぎたりして、教師の指示が聞けなくなるなど、はしゃぎすぎることもある。女子は、楽しんで

活動には参加するものの、上手に話せないかもしれないという不安もあり、会話などが明瞭に発話できない児童が多い。活動についても、男子の勢いに押されて遠慮がちなことが多い。そこで、穏やかに男子も女子もともに活動できる内容を工夫する必要がある。

3年と4年の学年差も多少は考慮しなければならないが、それ以上に個人差が大きく、学習内容の理解に困難が生じるだろうと予想される児童が数名いる。どの子ども、楽しく取り組めて、ある程度発話等が繰り返し行えるような活動になるように配慮が必要である。

○研究主題との関わり

本校では、「子どもたちの思いをひろげる確かなコミュニケーション能力の育成」という研究主題で研究を進めている。前述したように、学習内容の理解に困難が生じる児童がいることが予想されるので、英語のフレーズがきちんと発話できることよりも、単語でもジェスチャーでもよいから、自分の言いたいことが表現できるということを重視したい。自信を持って活動に取り組ませるために、練習で身につけるものの言い表し方を知らせ、その後もALTが中心になって身につけるものの名前を繰り返し発話し、数多く聞かせていくようにしたい。また、「着せ替えゲーム」などのリラックスできるような楽しい活動を用意することで、自分も参加して楽しみたいと思えるような活動にしていきたい。子どもの関心を高めることが、コミュニケーションをしようという意欲につながり、ひいては自分の思いをひろげるということにつながると考える。

本時では、次の3点を研究主題を達成するための視点としたい。

- ①身につけるものの発音を聞く機会を数多く作るために、HRTやALTは、単語を繰り返し発話することを意識するようにする。
- ②参加したいと思えるようにするために、「着せ替えゲーム」などのゲームを工夫する。
- ③自信を持って自分の言いたいことを言えるように支援するために、細かい発音やフレーズにはとらわれず、称揚しながら意欲を高めていく。

(第2時)

目標	身につけているものを表す言い方に慣れ、それを用いて楽しく活動する。		
活動過程 (時間)	児童の活動	HRTとALTの支援と工夫 HRT☆ ALT★	準備物 ◆評価
1 あいさつ (5)	○あいさつをする。 ・気分や体調、天気についてALTと会話する。	★☆明るい雰囲気をつくる。	
2 ウォームアップ (5)	○「What are you wearing?」を歌う。	☆★動作をつけながら楽しく歌えるようにする。	CD
3 今日の課題 (2)	○HRTの話を書く	☆ 前時の学習を想起させ、本時のめあてを提示する。	
身につけているものを尋ねたり答えたりしよう。			
4 主な活動 (26)	○絵カードを見て、身につけるものの名前に慣れる。 ○「Listening Game」をする。 ○「Fly Game」をする。	★ 絵カードで、身につけるものの名前を知らせる。 ★ チャンツで「What are you wearing?」「I'm wearing～」の言い方に慣れさせる。 ☆★デモンストレーションでゲームの方法を示す。 ☆★「What are you wearing?」の言い方に慣れさせるために、全員に発話させるようにする。 ★☆デモンストレーションでゲームの方法を示す。 ★☆はっきりと発話できるようにアドバイスしていく。 ☆ 言えない時は、ジェスチャーでもよいことや、ALTにたずねてもよいことを確認する。 ☆★発話しにくく児童には、個別に援助していく。	絵カード ポスター ◆表現 絵カード
5 ふりかえり (5)	○ふりかえりカードに記入させる。 ○本時のまとめをする。	☆ 児童が身につけるものの言い方が分かったかどうか、特に新しい言葉について確認し、ほめる。 ★ 児童の意欲や態度をほめる。	ふりかえりカード
6 あいさつ (2)	○あいさつをする。		
評価	○自分が身につけているものを表す言い方に慣れ、友達にたずねたり答えたりしている。[表現]		

(第3時)

目標	身につけているものや持っているものを表す言い方が分かり、それを用いて友達と楽しく活動する。		
活動過程 (時間)	児童の活動	HRTとALTの支援と工夫 HRT☆ ALT★	準備物 ◆評価
1 あいさつ (5)	○あいさつをする。 ・気分や体調、天気についてALTと会話する。	★☆明るい雰囲気をつくる。	
2 ウォームアップ (5)	○「What are you wearing?」を歌う。	☆★動作をつけながら楽しく歌えるようにする。	CD
3 今日の課題 (3)	○HRTとALTの会話を聞く。	☆★「What are you wearing?」「I have ~.」を使って人を捜す様子を例示し、これからの学習について知らせる。	ポスター
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 身につけているものや持っているものをたずねたり答えたりしよう。 </div>			
4 主な活動 (24)	○絵カードを見て、身につけるものの名前を知る。 ○「Gesture Game」をする。 ○「Fly Game」をする。	★ 絵カードで、身につけるものや持っているものの名前の言い方に慣れさせる。 ★ チャンツで「What are you wearing?」「I'm wearing ~」「I have ~」の言い方に慣れさせる。 ★☆デモンストレーションでゲームの方法を示す。 ★☆「What are you wearing?」の言い方に慣れさせるために、全員に発話させるようにする。 ☆ 分かりやすくジェスチャーしている児童をほめ、意欲を高める。 ★☆デモンストレーションでゲームの方法を示す。 ☆ 「I have ~」の表現が苦手な児童に個別に援助する。 ☆ 言えない時は、ジェスチャーでもよいことや、ALTにたずねてもよいことを確認する。 ☆★はっきり発話している子児童をほめ、意欲を高める。	絵カード ◆表現
5 ふりかえり (6)	○ふりかえりカードに記入させる。 ○本時のまとめをする。	☆ 児童が持っているものの言い方が分かったかどうか確認しほめる。 ★ 児童の意欲や態度をほめる。	ふりかえりカード
6 あいさつ (2)	○あいさつをする。		
評価	○自分が身につけているものを表す言い方に慣れ、友達にたずねたり答えたりしている。[表現]		

(第4時)

目標	ハローウィンで身につけるものや持っているものの言い方に慣れ、ハローウィンという外国の行事について知る。		
活動過程 (時間)	児童の活動	HRTとALTの支援と工夫 HRT☆ ALT★	準備物 ◆評価
1 あいさつ (5)	○あいさつをする。 ・気分や体調、天気についてALTと会話する。	★☆☆明るい雰囲気をつくる。	
2 ウォームアップ (5)	○「What are you wearing?」を歌う。	☆☆動作をつけながら楽しく歌えるようにする。	CD
3 今日の課題 (5)	○HRTの話を書く	☆☆ハローウィンの道具を子どもたちに提示し、興味を高める。	ついたて
ハローウィンについて知ろう。			
4 主な活動 (22)	○仮装大会をする。 ○ハローウィンのキャラクターを知る。 ○ハローウィンの絵本を読む。	☆ ハローウィンの仮装をさせ、友達からの「What are you wearing?」という質問に答えさせていく。 ☆ 分からない時には、教えて発話させる。 ★☆☆はっきり発話できた児童をほめ、意欲を高める。 ★☆☆ハローウィンのキャラクターを知らせ、言い方に慣れさせる。 ★☆☆ハローウィンのキャラクターの塗り絵をさせ、個別に質問していくことで、キャラクターの言い方に慣れさせる。 ☆ ハローウィンの起源についての絵本を読み聞かせ、ハローウィンが先祖を大切にしようとする外国の大切な行事であることに気づかせる。	仮装衣装 ポスター 絵カード 塗り絵カード 絵本 ◆気付き
5 ふりかえり (6)	○ふりかえりカードに記入させる。 ○本時のまとめをする。	☆ 児童から感想を聞き、ハローウィンに対する気づきを認めていく。 ★ 児童の意欲や態度をほめる。	ふりかえりカード
6 あいさつ (2)	○あいさつをする。		
評価	○自分が身につけているものの言い表し方に慣れ、日常使っている言い方とは違うことに気付く。[気付き]		

1 単元名 私の夢はね My Dream

2 単元目標

- いろいろな職業の言い方に親しみ、何になりたいかを答える。
- 友達に夢を尋ねたり、自分の夢を紹介したりして、友達と楽しくコミュニケーションをする。
- 他の国の職業を知り、日本との違いや考え方の違いに気づく。

3 評価規準

- 自分になりたい職業に興味をもち、進んで発話したり、進んで友達に伝えようとしたりしている。(関心・意欲・態度)
- 将来になりたい職業について、理由をつけてみんなに紹介する。(表現)
- 他の国の職業を知り、日本との違いや考え方の違いに気づく。(気付き・理解)

4 扱う表現

What do you want to be? I want to be a ~. Because I like ~.

baseball player, doctor, fire fighter, baker, carpenter, astronaut, nurse, teacher, police officer, pianist, computer programmer, cook (shef), announcer (newscaster), cartoonist (artist), dancer, farmer, pilot, florist, vet, musician, tennis player, racing driver, fashion designer, nursery school teacher, hair dresser

5 指導計画 (全5時間)

- 第1時 いろいろな職業の言い方に慣れる。
- 第2時 自分になりたい職業を理由とともに考え、紹介カードにまとめる。
- 第3時 友達のやりたい職業をたずねたり、答えたりする言い方に慣れる。
- 第4時 職業についていろいろなたずね方や答え方の表現を用いて、自分の夢について友達に紹介する。(本時)
- 第5時 職業についていろいろなたずね方や答え方の表現を用いて、自分の夢について理由なども考えて友達に紹介する。

6 指導上の立場

○単元について

本単元は、「将来の夢」を題材として取り上げている。6年生は、卒業を迎えるにあたって、学級活動として行うキャリア教育とも関連を図り授業構成を行っていきたい。

本単元の目標は、What do you want to be? I want to be a ~. Because I like ~. の英語表現を使い、将来つきたい職業をたずねたり、自分になりたい職業を理由を含めて紹介したりすることである。ここでは、単に将来つきたい職業を言わせるだけでなく、理由を含めて表現させることを重視する。また、児童に職業名の暗記を求めるのではなく、自分の将来を真剣に考え、その職業について、どのようなことをしたいか、また、なぜその職業につきたいかなどを英語ノート2の紹介カードを活用して考えさせ、それをクラスの友達と紹介しあうことで、未来に希望をはせ、様々なことに前向きに取り組んでいく意欲を育てたい。

○児童の実態

本学級は、5年生6名、6年生10名の複式学級である。全校で一番人数が多い学級であり、児童は、明るく大変元気がよい。また、複式学級ではあるが、5年生と6年生の仲も大変よい。児童は、低学年の頃から外国語活動を経験しており、この外国語活動の時間をとても楽しみにしている。

本学級は、複式による外国語活動の学年差は、ほとんどみられない。どちらかという個人差が大きい。6年生の男子と5年生の女子は、はきはきと英語表現をすることができるが、6年生の女子の一部におとなしく声が小さくなりがちな児童がいる。消極的な児童をしっかりとほめるなど、自信を持って発表させる支援が必要である。

○研究主題との関わり

本校では、「子どもたちの思いをひろげる確かなコミュニケーション能力の育成」という研究主題のもとに外国語活動を進めている。確かなコミュニケーション能力とは、より実践的なコミュニケーションの力ととらえ、毎時間ゲームの内容や持ち方を工夫したり、ICT機器や英語ノートを活用したりして、それを身につけるよう工夫している。

本単元では、将来なりたい職業についての英語表現を使い、友達にたずねたり、紹介しあう活動を通して、コミュニケーション能力の育成を図っていきたい。また、英語ノートやICT機器を活用し、視覚に訴え児童の学習意欲の向上を図り、ひいては、コミュニケーション能力を高めたい。

また、本校では外国語活動を進めるにあたり、5つの活動のめあて（① Eye contact ② Listen Carefully ③ Speak clearly ④ Big gestures ⑤ Nice smile）を決め、一単位時間ごとに特にがんばるポイントを提示し、児童に意識付けを行い、実践的な力を高めるようにしている。本時は、ゲームでインタビュー活動を行うので、特に①の Eye contact、③の Speak clearly、⑤の Nice smile に気をつけさせたい。

最後に、本時は、研究主題達成のために次の4点を工夫し、進めたい。

- ① スマートボードを活用し、ウォームアップで英語ノート2のP56の「Let's Listen」を使い、リスニングゲームを行い、楽しみながら行う活動をさせ意欲を高めたい。
- ② 職業に慣れ親しむために、ビンゴゲームを取り入れる。英語ノート2のビンゴカードや職業カードを活用したい。児童がALTに、「What do you want to be?」と尋ね、ALTが、「I want to be a ~.」と答える方法でビンゴゲームを進める。
- ③ コミュニケーション能力を高めるために「Interview Game」を取り入れ、たくさんの友達と楽しいコミュニケーションの場となるようにしたい。そのとき、インタビューした人数も重視するが、活動のめあての①の Eye contact や⑤の Nice smile などにも気をつけさせたい。
- ④ ふりかえりカードを使い、自らの活動を振り返えさせるとともに、インタビュー活動等で友達のがんばったことも発表させ、次時からの児童の意欲を向上させたい。

7 本時案 (第1時)

目標	いろいろな職業の言い方を知り、なりたい職業を尋ねたり答えたりする言い方に慣れる。		
活動過程 (時間)	児童の活動	HRTとALTの支援と工夫 HRT☆ ALT★	準備物 ◆評価
1 あいさつ (3)	○あいさつをする。	☆☆気分や体調、天気などについて、会話する。	
2 ウォームアップ (5)	○「When I Grown Up」を歌う。	☆☆動作をつけながら楽しく歌えるようにする。	CD
3 今日の課題 (5)	○HRTとALTの会話を聞く。	☆☆「What do you want to be?」「I want to be a ~.」「Because I like ~.」を使って将来の職業をたずねる様子を例示し、これからの学習について知らせる。	
いろいろな職業の言い方を知り、将来なりたい職業をたずねたり、答えたりする言い方に慣れよう。			
4 主な活動 (24)	○主な職業について名前を知る。 ○外国の職業の話をALTから聞く。 ○「What do you want to be?」や「I want to be a ~.」などの英語表現に慣れる ○「Karuta Game」をする。 ○「What's on me?」をする。	☆☆絵カードを活用し、児童と発話練習を行う。 ☆ 外国の職業について、日本との違いなどに気付かせる。 ☆☆ALTと児童、児童と児童などと相手を変えながら英語表現に慣れさせる。 ☆☆HRTとALTのデモンストレーションでゲームの方法を示す。 ☆ 「What do you want to be?」に慣れさせるためALTへ全員で発話させる。 ☆☆HRTとALTのデモンストレーションでゲームの方法を示す。 ☆ 導入時であるので、わからない児童へは、ジェスチャーでヒントを与える。	絵カード ◆気付き カルタカード ◆関心 絵カード
5 ふりかえり (6)	○今日のめあては、どうだったか、頑張った友達などについて発表する。	☆ 本時のめあてやコミュニケーションのよかったところや頑張った友達を紹介し、今後の学習意欲の向上を図る。 ☆ 英語表現のよかったところや気付いたところを言う。	ふりかえりカード
6 あいさつ (2)	○あいさつをする。	☆☆満足感を持ち、授業を終えることができるようにする。	
評価	○いろいろな職業の言い方に関心を持つ。〔関心〕 ○他の国の職業を知り、日本との違いや考え方の違いに気付く。〔気付き〕		

(第2時)

目標	なりたい職業を尋ねたり答えたりする言い方に慣れるとともに、自分の夢について紹介カードにかくことができる。		
活動過程 (時間)	児童の活動	HRTとALTの支援と工夫 HRT☆ ALT★	準備物 ◆評価
1 あいさつ (3)	○あいさつをする。	☆☆気分や体調、天気などについて、会話する。	
2 ウォームアップ (5)	○「When I Grown Up」を歌う。	☆☆動作をつけながら楽しく歌えるようにする。	CD
3 今日の課題 (3)	○HRTの話聞く。	☆ 前時の学習を想起させ、本時のめあてを提示する。	
自分の夢(職業)を紹介カードにかこう。			
4 主な活動 (26)	○主な職業について発話練習をする。 ○「What do you want to be?」や「I want to be a ~.」などの英語表現に慣れる。 ○自分の夢(職業)を紹介カードにかく。	☆☆絵カードを活用し、児童と発話練習を行う。 ☆☆ALTと児童、児童と児童などと相手を変えながら英語表現に慣れさせる。 ☆ 自分の職業の英語表現がわからない児童は、ALTにたずねさせる。 ☆ どうしてその職業になりたいのか理由をしっかりと考えさせる。 ☆ 自分の考えた職業について、絵でも表現させる。	絵カード 紹介カード ◆関心 ふりかえりカード
5 ふりかえり (6)	○今日のめあてはどうか、頑張った友達などについて発表する。	☆ 本時のめあてやコミュニケーションのよかったところや頑張った友達を紹介し、今後の学習意欲の向上を図る。 ★ 英語表現のよかったところや気付いたところを言う。	ふりかえりカード
6 あいさつ (2)	○あいさつをする。	☆☆満足感を持ち、授業を終えることができるようにする。	
評価	○理由もしっかり考え、自分の夢(職業)について紹介カードに意欲的に書こうとする。 [関心]		

(第3時)

目標	友達になりたい職業をたずねたり、答えたりすることができるようにする。		
活動過程 (時間)	児童の活動	HRTとALTの支援と工夫 HRT☆ ALT★	準備物 ◆評価
1 あいさつ (3)	○あいさつをする。	☆☆気分や体調、天気などについて、会話する。	
2 ウォームアップ (5)	○「When I Grown Up」を歌う。	☆☆動作をつけながら楽しく歌えるようにする。	CD
3 今日の課題 (5)	○HRTとALTの会話を聞く。	☆☆「What do you want to be?」「I want to be a ~.」「Because I like ~.」を使って将来の職業をたずねる言い方を例示し、これからの学習について知らせる。	
将来なりたい職業をたずねたり、答えたりする言い方になれよう。			
4 主な活動 (24)	○児童から出た職業について発話する。 ○「What do you want to be?」や「I want to be a ~.」などの英語表現に慣れる ○「What's on me?」をする。 ○「Bingo Game」をする。	★ 絵カードを活用し、児童と発話練習を行う。 ☆☆ALTと児童、児童と児童などと相手を替えながら英語表現に慣れさせる。 ☆☆HRTとALTのデモンストレーションでゲームの方法を示す。 ☆ わからない児童へは、ジェスチャーでヒントを与える。 ☆☆HRTとALTのデモンストレーションでゲームの方法を示す。	絵カード 絵カード ◆関心
5 ふりかえり (6)	○今日のめあては、どうだったか、頑張った友達などについて発表する。	☆ 本時のめあてやコミュニケーションのよかったところや頑張った友達を紹介し、今後の学習意欲の向上を図る。 ★ 英語表現のよかったところや気付いたところを言う。	ふりかえりカード
6 あいさつ (2)	○あいさつをする。	☆☆満足感を持ち、授業を終えることができるようにする。	
評価	○自分がなりたい職業に興味をもち、進んで発話したり、進んで友達に伝えようしている。〔関心〕		

(第4時)

目標	友達になりたい職業をたずねたり、自分になりたい職業を答えたりすることができるようにする。		
活動過程 (時間)	児童の活動	HRTとALTの支援と工夫 HRT☆ ALT★	準備物 ◆評価
1 あいさつ (3)	○あいさつをする。	☆☆気分や体調、天気などについて、会話する。	
2 ウォームアップ (5)	○「Listening Game」をする。	☆ 英語ノート2のLesson9のリスニングゲームをさせる。 ☆ ICTを活用し児童の意欲関心を高める。	電子黒板、プロジェクター
3 今日の課題 (3)	○HRTとALTの会話を聞く。	☆☆「What do you want to be?」「I want to be a ~.」「Because I like ~.」を使って将来の職業をたずねる言い方を例示し、これからの学習について知らせる。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 将来になりたい職業をたずねたり、答えたりする言い方になれよう。 </div>			
4 主な活動 (26)	○主な職業について復習する。 ○What do you want to be? や I want to be a ~.などの英語表現に慣れる。 ○「Bingo Game」をする。 ○「Interview Game」をする。	☆ 絵カードを活用し、児童と発話練習を行う。 ☆☆☆ALTと児童、児童と児童などと相手を変えながら英語表現に慣れさせる。 ☆☆☆HRTとALTのデモンストレーションでゲームの方法を示す。 ☆ 英語ノート2のビンゴカードや職業カードを活用する。 ☆☆☆HRTとALTのデモンストレーションでゲームの方法を示す。 ☆ できるだけ多くの人にインタビューするよう奨励する。また、活動のめあて①や⑤のEye contactやNice smileなどに気を付けさせる。 ☆ 本時までには自分のなりたい職業を理由をつけて考えさせておく。	絵カード 電子黒板、プロジェクター ビンゴカード ◆関心 ◆表現
5 ふりかえり (6)	○今日のめあてはどうだったか、頑張った友達などについて発表する。	☆ 本時のめあてやコミュニケーションのよかったところや頑張った友達を紹介し、今後の学習意欲の向上を図る。 ☆ 英語表現のよかったところや気付いたところを言う。	ふりかえりカード
6 あいさつ (2)	○あいさつをする。	☆☆満足感を持ち、授業を終えることができるようにする。	
評価	○自分になりたい職業に興味をもち、進んで発話したり、進んで友達に伝えようとしている。〔関心〕 ○様々な職業を表す言い方に慣れ、友達にたずねたり答えたりしている。〔表現〕		

(第5時)

目標	今まで学習してきたいろいろな尋ね方や答え方を振り返り、理由なども考えて自分の夢を紹介できるようにする。		
活動過程 (時間)	児童の活動	HRTとALTの支援と工夫 HRT☆ ALT★	準備物 ◆評価
1 あいさつ (3)	○あいさつをする。	☆☆気分や体調、天気などについて、会話する。	
2 ウォームアップ (5)	○「When I Grown Up」を歌う。	☆☆動作をつけながら楽しく歌えるようにする。	CD
3 今日の課題 (3)	○HRTと話を聞く。	☆ 前時の学習を想起させ、本時のめあてを提示する。	
自分の将来の夢についての発表会をしよう。			
4 主な活動 (26)	○主な職業について復習する。 ○What do you want to be? や I want to be a ~ などの英語表現に慣れる。 ○将来の夢の発表会をする。	☆ 絵カードを活用し、児童と発話練習を行う。 ☆☆☆ALTと児童、児童と児童などと相手を替えながら英語表現に慣れさせる。 ☆☆☆HRTとALTのデモンストレーションでゲームの方法を示す。 ☆ ALTがたずね、児童に理由をつけて自分の夢を発表させる。 ☆ 発表後、HRTは、抱負等発表者に質問する。 ☆ 発表後、他の児童に感想を発表させる。	絵カード 紹介カード ◆関心 ◆表現
5 ふりかえり (5)	○今日のめあてはどうだったか、頑張った友達などについて発表する。	☆ 本時のめあてやコミュニケーションのよかったところや頑張った友達を紹介し、今後の学習意欲の向上を図る。 ☆ 英語表現のよかったところや気付いたところを言う。	ふりかえりカード
6 あいさつ (3)	○あいさつをする。	☆☆満足感を持ち、授業を終えることができるようにする。	
評価	○自分がなりたい職業に興味をもち、進んで発話したり、進んで友達に伝えようとしていたりしている。〔関心〕 ○いろいろな職業を表す言い方に慣れ、友達にたずねたり答えたりしている。〔表現〕		